

認知症・高齢者部屋内(ベッド離床検知)

見守り装置



24時間見守り 体型・欠損影響なし 他機器・ソフト連携可

見守中	警告			
見守中	警告	警告	警告	警告
寝ている	起上り	端座位	立位	いない
レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5

通知

モニタリング

声かけ

通話

介護スタッフ

携帯端末



見守りシステム諸元データ

仕様項目	製品仕様	
商品名	見守りシステム Mi-Ru	
システム構成	マルチモード	本体 複数台、携帯端末 複数台、管理PC1台 ※2 (最大接続台数 見守り装置16台、携帯端末5台)
	シングルモード	本体1台、携帯端末1台 ※2
装置本体	品番	MS-KH001
	電源	電源電圧: AC100V 50/60Hz 消費電力: 約14W
	外形寸法	幅(W): 120mm 高さ(H): 1320mm 奥行(D): 50mm ※背面取付金具、電源コードは含まれておりません
	重量	約3Kg
	検知方式	CMOS イメージセンサーを利用した動き検知処理
	通話機能	マイク及びスピーカ内蔵
	通信	無線LAN (IEEE802.11b/g/n)
携帯端末	取付方法	壁面設置方式(専用取付金具使用)
	対象ベッドサイズ	横幅: 1500mm以下 長さ: 2000mm以下 ※3
	設置位置	ベッド端(頭部又は足元部)から300mm以内 ※3
管理PC	使用環境	温度: 5~35℃ 湿度: 80%以下 結露無きこと
	基本機能	離床通知、映像モニタリング(プライバシー保護機能に対応)、音声通話
管理 PC	基本機能	複数同時離床状態表示
		入居者情報管理、介護スタッフ情報管理、見守り装置情報管理
		動画記録・再生(最大10日間)
		離床履歴表示 モニター映像のプライバシー保護設定

※2 無線LAN環境が必要です。

※3 この範囲外で使用する場合はご相談ください。

お問い合わせ先

ワイエイシエレックス株式会社

住所: 〒664-0891 伊丹市北園3丁目10番地の1
TEL 072-785-9665
URL: <http://www.yacelex.co.jp>
E-mail: mi-ru@yacelex.co.jp

Mi-Ru 専用サイト

<http://www.yacelex.co.jp/mi-ru.html>



H25,26年度経済産業省ロボット介護機器開発・導入促進事業採択

企画開発元: (株)VRテクノセンター

発案者: 国立長寿医療研究センター 先端診療部 部長 松井康素

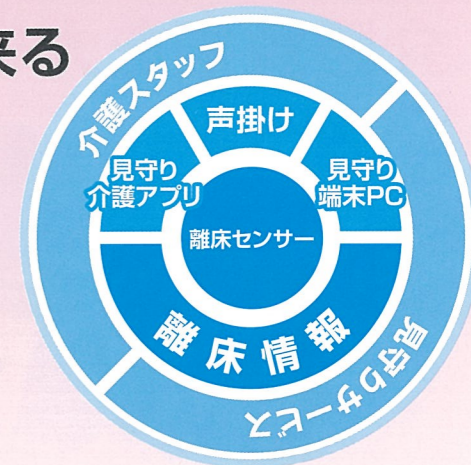
※本資料に記載された内容は、予告なく変更する場合がございますので、予めご了承下さい。

代理店・販売店



認知症の方や高齢者がベッドから離れようとした時に素早く
検知 通知 モニタリング 声かけ ができる

Mi-Ru(ミール)



マルチ離床センサー対応型介護施設向け見守りシステム

認知症の方や高齢者を24時間見守り支援、 介護負担を大きく軽減。



暗い室内でも対応
CMOSイメージセンサー。
小さな音も逃さない内
蔵マイク。

対話が可能な内蔵
スピーカー



基本機能について

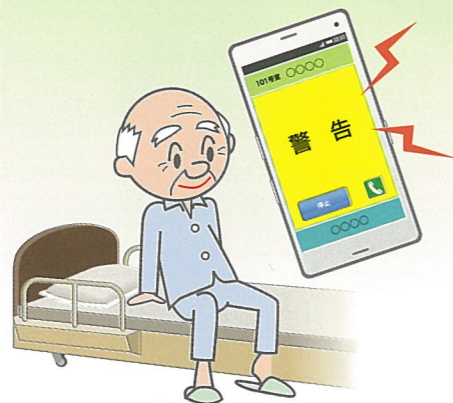
ベッド離床の予兆を行います。

警告設定は「起上り」と「端座位」が選択できます。



検知を即時に通知・表示。

検知を即時にサービスステーションや介護スタッフの携帯端末へ通知・表示します。



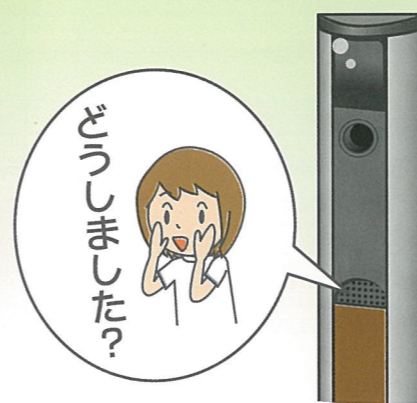
携帯端末で映像確認ができる。

携帯端末で映像状況を確認できます。(プライバシー設定機能あり)



声がけ・会話ができます。

携帯端末から声がけ、会話ができます。



24時間見守ることが出来ます。

センサーは、昼夜を問わず24時間使用できます。



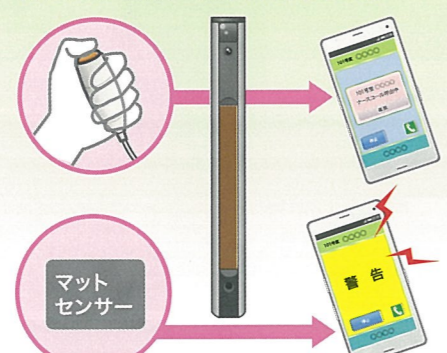
ストレスや負担がかからない

ベッドに直接設置しないためストレスや負担がかかりません。



既存の機器とも接続できる。

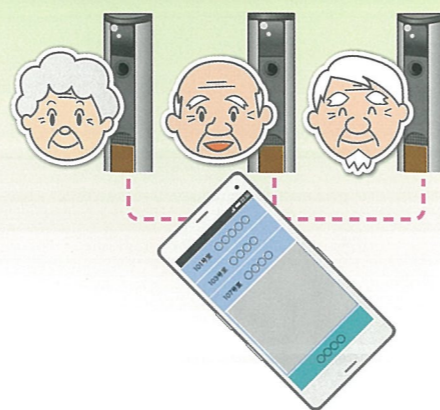
既存のマットセンサー、ナースコールと接続して使用できます。
※マットセンサー、ナースコールの種類によっては接続利用できない場合があります。(オプション機器(※検討中)使用時のみ)



マットセンサー、ナースコールボタンの情報を利用できます

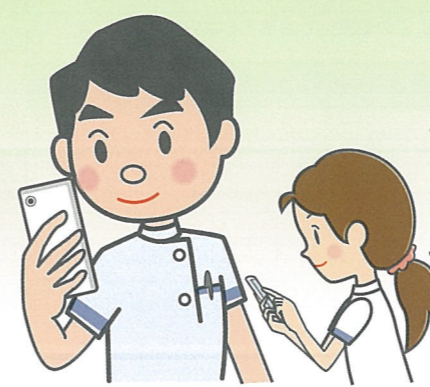
複数の入居者の同時利用可能。

複数の認知症・高齢者の方に対して、同時に利用できます。※1



複数の入居者への同時利用可能。

複数の介護スタッフが同時に利用できます。※1



動画記録再生が可能です。

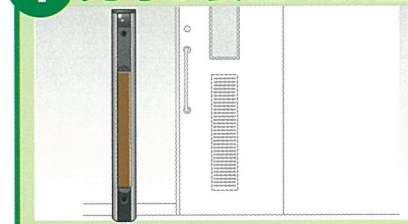
動画記録・再生によって状況を遡って確認することが可能です。※1



※1 シングルモードでは、この機能は使えません。

使い方(手順)

1 見守り装置の設置



2 携帯端末からの見守り離床の設定



3 携帯端末で見守り開始



4 離床検知→携帯端末へ通知(音)→離床確認



5 携帯端末で映像確認



6 携帯端末で声がけ、通話による確認

